

第 1 回学校運営協議会における質疑一覧

No.	質疑	回答
1	工事は土日に行う想定でのスケジュールとなっているのか。	工事の性質（騒音、振動等）に応じて、土日、祝日、長期休暇等も利用しながら工事を進めていく。
2	受験シーズンと工事が重複する期間があるが、受験生への配慮はどうするのか。	工事エリアを明確に区画するとともに、学校と密に情報共有を図りながら工事を進めていきたい。
3	児童クラブエリアのトイレの数について、小学校エリア女子4だが、少ないのではないかと増設を検討してほしい。	基準等から女子便器は60名あたり4個が基準となる。現状の2施設（日高見児童クラブ、かしまの森児童クラブ）の利用児童数は合わせて87名であり、仮に半数ずつとした場合は44名のため、便器数に不足はないと判断している。
4	トイレや水道の高さが中学生向けとなっているが、学年によって高さが違うので、改修を行うのか。	踏み台等で対応する。
5	2階部分について、小学校と中学校では授業時間や休み時間が違うが、どのように対応するのか。また、騒音対策はどのようにするのか。	配置が決まったわけではないので、今後検討したい。また、ほかの義務教育学校ではノーチャイム制を採用している。
6	小学校、中学校、特別支援に分かれている各エリアについて、どのような考え方に基づいてこのような配置になったのか。	既存施設の状況を踏まえ、可能な限り特別支援学級や児童クラブエリアに配慮しながら、小学校や中学校エリアを配置したところである。
7	既存の職員室に小学校の教師が入りきるのか。	開校時の職員数が決まっていないことから、稲田学園を参考とした34名は入ることを確認している。なお、今後設計にて詳細検討する。
8	開校当時に想定される教師数及び児童生徒数は何名か。	令和11年4月現在の予定児童生徒数は213名（小学校134名、中学校79名）。 R8.5.1職員数は長沼中12名、長沼小15名、長沼東小13人名。開校時の職員数は決まっていないが、稲田学園は現在34名である。